

平成17年9月13日

株式会社エコループセンター  
代表取締役社長 岡崎 洋 殿

山北町長 佐藤 精一郎

エコループプロジェクト立地候補地としての最終判断について

初秋の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、山北町におきましては、昨年4月、NPO法人環境テクノロジーセンターから「エコループプロジェクト」の提案を受け、7月5日に神奈川県庁において、神奈川県知事、NPO法人環境テクノロジーセンター岡崎理事長と山北町と3者で会見し、町は立地候補地として検討を進めることを表明いたしました。その後、株式会社エコループセンターが設立され、今年の3月まで事業化判断のための調査が行われた。その結果、4月1日に事業化することの最終判断の報告と支援協力の要請をいただきました。

しかしながら、これまで会社側から示されている内容では、未だ具体性に欠け、町として、町民の方々の理解を得るために必要な情報が十分に得られていないのが実情であります。

一方、足柄上地区1市5町のごみ処理広域化の取り組みは、このプロジェクトを見極めるべく休止しているところではありますが、一般廃棄物の処理責任を有する市町にとって、これ以上の遅滞は許されない時期にきています。

また、県内の市町村や各ブロックからは、本プロジェクトに対する明確な参加意向の表明がされていないのも実情であります。

こうしたことから、この度、エコループプロジェクトの立地候補地としての検討を進めていくことを断念することとしたものであります。

もとより、このエコループプロジェクト自体は、幅広く環境に配慮した廃棄物の総合処理システムを民間の手で具体化するものであり、画期的な環境共生型の新産業であると評価しているところであり、こうした新産業の誘致によって、山北町の発展、活性化を図ることが、私の願いであるということについては、今でも変わっておりません。こうした事情をお汲み取りいただき、この度の決断に、ご理解を賜りたいと存じます。

また、立地候補地としての表明以来、誠心誠意ご検討をいただいた岡崎社長を始め、株式会社エコループセンターの方々には感謝を申し上げたいと思います。

拝啓 エコループプロジェクトにつきましては、格別のご配慮を賜り感謝いたしております。

ところで、このプロジェクトは、山北町を立地候補地として企画、立案してまいったところでありますが、この度、山北町長から別紙のとおり意思表示を頂きました。

従いまして、山北町におけるエコループプロジェクトの展開につきましては、改めて根幹から再検討する必要に迫られたところでございます。立地先からの検討になりますと、相当の日時を要することになり、かねてから提案させていただいておりました平成22年度下半期の操業開始は著しく困難になりました。

このことは、大変恐縮には存じますが、貴職の一般廃棄物処理行政に甚大な影響を与えることになると思慮されますので、とり急ぎ、お詫びかたがたご連絡申し上げます。

なお、当社といたしましては、今後の事業内容等の再検討にあたりましては、貴職のご意見を十分参酌させて頂きたいと考えておりますので、ご配意を賜りますようお願い申し上げます。

貴職の一般廃棄物処理行政に大きな影響を与える結果になりましたことをお詫び申し上げますとともに、事情ご賢察の上、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

平成17年9月13日

(市町村長) 殿  
(一部事務組合) 殿

株式会社 エコループセンター  
代表取締役社長 岡崎 洋